

(論文)

コーポレートガバナンス・コードの再改訂
Re-revision of the Corporate Governance Code

松岡 弘樹
Hiroki Matsuoka

要旨

我が国の上場会社におけるコーポレートガバナンス改革は、2014年6月27日に公布された「会社法の一部を改正する法律（平成26年法律第90号）」をはじめとして、様々な施策が講じられてきた。その一環として、金融庁と東京証券取引所を共同事務局とする「コーポレートガバナンス・コードの策定に関する有識者会議」が、「コーポレートガバナンス・コード原案一会社の持続的な成長と中長期的な企業価値の向上のために」を策定し、2015年3月5日に公表した。これを受けて、東京証券取引所は、上場規則を改正して、「コーポレートガバナンス・コード一会社の持続的な成長と中長期的な企業価値の向上のために（以下「CG コード」という）」を策定し、同年5月31日に公表した。CG コードは定期的に見直されることとなっており、2018年に改訂が行われ、2021年に再改訂が行われた。CG コードは、我が国の企業における実効的なコーポレートガバナンスの実現を図る上で、極めて大きな意義を有するものであることから、本稿では、再改訂された CG コードの内容を概説するとともに、今後のCG コードのあり方について、若干の考察を行うものである。

キーワード： コーポレートガバナンス スチュワードシップ・コード サステナビリティ・ガバナンス